

射水市内遺跡発掘調査報告7

— 平成25年度高島A遺跡本発掘調査・水戸田地区試掘調査他 —

2015年

富山県射水市教育委員会

射水市内遺跡発掘調査報告7

— 平成25年度高島A遺跡本発掘調査・水戸田地区試掘調査他 —

2015年

富山県射水市教育委員会



高島A遺跡【10地区】 調査区全景 出土遺物（弥生土器・須恵器・珠洲）

卷首図版2



生源寺II遺跡・水戸田遺跡 遠景 出土遺物（須恵器・珠洲・近世陶磁器）

射水市内遺跡発掘調査報告7

— 平成25年度高島A遺跡本発掘調査・水戸田地区試掘調査他 —

2015年

富山県射水市教育委員会

例言

- 1 本書は、平成25年度に富山県射水市内において射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の調査報告書である。
- 2 試掘調査・出土品整理・報告書刊行は、国庫補助金・県費補助金を受けて実施した。
- 3 対象となった埋蔵文化財、並びに調査に関する位置・原因・面積・期間等は各章に記した。
- 4 本書の執筆・編集は、射水市教育委員会生涯学習・スポーツ課主任 田中 明（第1・2・4章）・主任 稲垣尚美（第3章）が担当した。
- 5 遺物整理の従事者は、高瀬直子・間 一美・吉沢泰子である。
- 6 発掘調査に係る遺物・図面・写真等の資料は、すべて射水市教育委員会で一括保管している。

凡例

- 1 本書で用いた座標は世界測地系第Ⅷ系に準拠した。方位は真北、水平基準は海拔高である。
- 2 遺構の分類記号は次の呼称を踏襲した。 SD：溝 SK：土坑 SB：掘立柱建物
- 3 遺構実測図の縮尺は各々のスケールとともにその縮尺を表記した。遺物実測図の縮尺は土器の1/4とし、スケールとともにその縮尺を表記した。
- 4 出土遺物の番号は、遺物実測図・遺物觀察表・写真図版の遺物番号にそれぞれ対応している。
- 5 本書で用いた土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄著『新版標準土色帖』に準拠している。
- 6 第4章第1節における発掘地区図版の試掘トレンチ脇の記号は、遺物の出土位置を示し種類は次のとおりとした。
 - ：縄文土器 □：弥生土器 ▽：土師器 ▲：須恵器 ■：珠洲 △：中世土師器
 - ：中世陶磁器 ⊗：近世陶磁器 ○：木製品 ☆：鉄滓（古代） T：トレンチ
- 7 遺物実測図中の土器断面の表現は次のとおりとした。
 - ：須恵器・珠洲

目次

第1章	遺跡の位置と歴史的環境	1
第2章	高島A遺跡本発掘調査	3
第1節	調査に至る経緯	3
第2節	調査の概要	4
第3節	遺構と遺物【10地区】	4
第4節	総括	6
第3章	水戸田地区試掘調査	7
第1節	調査に至る経緯と調査の経過	7
第2節	調査の方法	8
第3節	調査の概要	8
第4章	その他の遺跡調査	14
第1節	平成25年度試掘調査概要	16
1.	沖塚原東B遺跡	16
3.	朴木A遺跡	17
5.	黒河尺目遺跡	18
9.	背戸狹間遺跡	19
11.	松木大ノ田遺跡	20
13.	生源寺II遺跡	21
15.	朴木C遺跡	22

卷首図版目次

卷首図版1 高島A遺跡【10地区】 調査区全景 出土遺物（弥生土器・須恵器・珠洲）

卷首図版2 生源寺II遺跡・水戸田遺跡 遠景 出土遺物（須恵器・珠洲・近世陶磁器）

挿図目次

第1図	射水市の位置	1
第2図	遺跡の位置と周辺の遺跡	2
第3図	発掘区位置図【高島A遺跡】	3
第4図	遺構実測図【高島A遺跡10地区】	4
第5図	遺構実測図【高島A遺跡10地区】	5
第6図	遺物実測図【高島A遺跡10地区】	6
第7図	中世遺構配置図【高島A遺跡】	6
第8図	調査対象地及び周辺の遺跡	7
第9図	基本層序模式図	8
第10図	トレンチ配置図【水戸田地区試掘調査】	10
第11図	調査結果総括図【水戸田地区試掘調査】	11
第12図	遺物実測図【水戸田地区試掘調査】	12
第13図	遺物実測図【水戸田地区試掘調査】	13
第14図	試掘調査位置図	15
第15図	遺物実測図【生源寺II遺跡】	22

表目次

第1表	出土遺物観察表【高島A遺跡】(1~5)	6
第2表	新規包蔵地一覧表	9
第3表	出土遺物観察表【水戸田地区試掘調査】(1~37)	13
第4表	平成25年度埋蔵文化財発掘調査一覧	14
第5表	出土遺物観察表【生源寺II遺跡】(1~6)	22

図版目次

図版1	高島A遺跡【10地区】	遺構全景・溝S D01・土坑SK14・土坑SK33・土坑SK35
図版2	高島A遺跡【10地区】	出土遺物（土器・石製品・木製品）
図版3	水戸田地区試掘調査	14T遺構検出・16T遺構検出・18T全景
図版4	水戸田地区試掘調査	22T全景・22T遺構検出・41T遺構検出
図版5	水戸田地区試掘調査	54T遺構検出・59T土層断面・作業状況
図版6	水戸田地区試掘調査	出土遺物（土師器・須恵器・珠洲など）
図版7	沖塚原東B遺跡試掘調査	調査対象地全景・2T遺構検出・出土遺物（弥生土器・中世土師器）
図版8	黒河尺目遺跡試掘調査	1T全景・2T遺構検出・出土遺物（古代土師器）
図版9	生源寺II遺跡試掘調査	調査対象地全景・2T遺構検出・出土遺物（古代須恵器）
図版10	生源寺II遺跡試掘調査	2T遺構検出・3T遺構掘削・出土遺物（古代須恵器・古代鉄滓）

第1章 遺跡の位置と歴史的環境

射水市は富山県のはば中央に位置し、市域は東西約11km、南北約15kmで総面積109.43km²である。北部に富山湾、中央に射水平野、南部に射水丘陵を配し、標高0～140mを測る。富山市・高岡市と隣接し、交通の便に恵まれていることから、住宅団地造成が頻繁に行われ、ベットタウン化が進んでいる。現在の人口は約9万5千人弱である。

射水平野は、東の神通川と西の庄川に挟まれた東西約11km、南北約7kmの範囲の低湿地帯である。およそ1万～8千年前に形成された複合扇状地性三角州沖積平野で、河川によって運ばれた土砂や粘土・礫が堆積している。この沖積層が堆積した時代は海岸線が沖へ後退して平野部は現在より広かったとみられ、その後は気候変化による繩文海進とよばれる海面上昇により、海岸線が陸へ進行して平野部が狭まり、現地形で標高約5m以下は海面下に没することになる。やがて気候の寒冷化による海面後退、河川の土砂が堆積することでかつての海は小さく放生津潟（現：富山新港）としてのみ形を残し、周辺に湿原が現れる。この湿原は放生津潟の水面と標高差が殆どないため、河川の流れが濁み沼沢地を形成、湿原の植物が枯れて泥炭が堆積し、平野部が開けていくことになる。また、射水丘陵は新生代第三紀の青井谷泥岩層を基盤とし、上層に礫と砂泥からなる日ノ宮互層と太閤山火碎岩層が堆積している。鍛冶川・

下条川・和田川やその支流によって河岸段丘や樹枝状の谷間が形成されている。このような自然環境の中で、先人達は集落を形成していくと考えられる。現在、市内には456箇所の遺跡が密集し、平野部に集落遺跡、丘陵部に生産遺跡が多く確認されている。

丘陵部では国指定史跡の小杉丸山遺跡、小杉流通業務団地内遺跡、上野南遺跡、赤坂A～D遺跡など生産遺跡が集中している。これらの遺跡は須恵器窯跡約39遺跡、製鉄遺跡約147遺跡を数えており県内最大規模を有する。須恵器生産窯跡や鉄生産製鉄炉と炭窯、工人の住居や作業場が見つかり、窯や炉を築くのに適した地形、粘土や薪・水の供給源が豊富にあることが好条件であったと考えられている。平野部では河川に近い地域に高島A遺跡、北高木遺跡、二口油免遺跡、小杉伊勢領遺跡などの集落遺跡が分布し、竪穴建物や掘立柱建物、溝や井戸などが確認されている。生産地である丘陵部と消費地である平野部を河川が結んで、交通路として機能していたために集落が営まれてきたと考えられている。

高島A遺跡は、庄川右岸に形成された標高約1.5m前後の沖積低地に立地し、弥生・古墳時代を主体とする遺跡である。遺構では弥生時代中期の周溝をもつ平地式建物や方形周溝墓、遺物では全国初となる装飾性に富んだ弥生時代の石製品も出土している。

水戸田地区は市内ほぼ中央域に位置する。東西約0.9km、南北約2.3kmを測り、北部は水田地帯、南部は丘陵地となっている。その丘陵地には全長43mの前方後円墳である五歩一古墳や瓦陶兼業窯である国指定史跡小杉丸山遺跡を中心に、古墳時代～古代に至る古墳・須恵器窯・製鉄炉等が確認されている。



第1図 射水市の位置

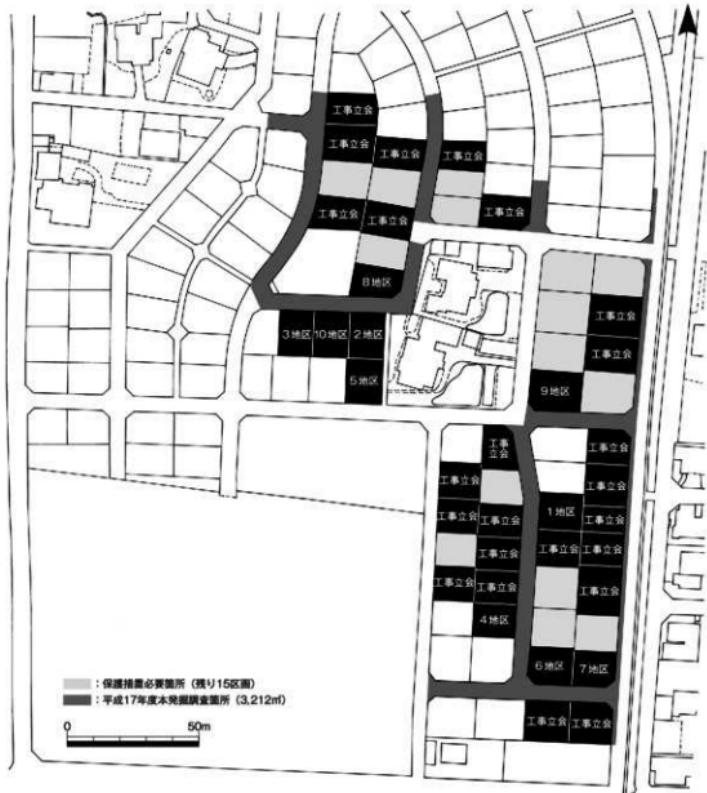


第2図 遺跡の位置と周辺の遺跡

第2章 高島A遺跡本発掘調査

第1節 調査に至る経緯

平成13年度、新湊市（現射水市）鏡宮地区における土地区画整理事業計画の照会を受けた。平成14年度、事業計画地が埋蔵文化財包蔵地（高島A遺跡）に含まれることから、遺跡保護と工事計画の調整を図る目的で試掘調査を実施した。その結果、計画地南側半分の約25,000m²を中心に弥生時代中期から古墳時代前期の遺構・遺物を確認した。このため、遺構に影響が及ぶ工事等を実施する場合は、本発掘調査による記録保存が必要との判断を示した。平成17年度、造成工事に先立ち計画道路部分の3,212m²において本発掘調査を実施した。平成19年度、分譲が開始され宅地49区画で遺跡の保護措置が必要となり、工事が地下遺構に与える影響を判断しながらの対応となった。平成19～22年度で9件、平成25年度1件で計10区画の本発掘調査を完了した。これまでに24件の工事立会も実施し、残り15区画分の保護措置は平成26年度以降の対応となった。



第3図 発掘区位置図〔高島A遺跡〕

第2節 調査の概要

調査区は造成工事により山砂の盛土がなされていたため、まず重機で盛土と旧水田耕作土を除去し、その後に作業員を投入して、遺構検出、遺構掘削、遺物取り上げを順次人力で行った。作業の進捗状況に応じて写真撮影（35mm・6×7中判・デジタル）や遺構概略図（1/100）、遺構断面図・遺構平面図（1/20）作成等の記録図化作業を実施した。調査終了後は、埋め戻しを行い現状復帰を図っている。その際に住宅基礎工事の改良掘削深度より深い遺構が検出された地区では、不同沈下防止のため新たな山砂を充填し重機で踏み固めている。

調査区の基本層序は1～3層に分層される。上から1層は山砂の造成盛土、2層は山砂の下の旧水田耕作土、3層は灰白色（5GY8/1）シルトの地山である。遺構は全て3層から掘り込まれている。

第3節 遺構と遺物 [10地区]

1号溝（S D01、第5図、図版1）

調査区北東端に位置し、南東～北西方向に向けて直線的に流れ、両端とも調査区外へのびる溝である。全長約2.4m、幅50cm～70cm、深さは最深で25cmを測る。断面はほぼ逆台形状を呈し、覆土は炭化物を含む灰色シルトが堆積する。遺物の出土はない。

14号土坑（SK14、第5・6図、図版1・2）

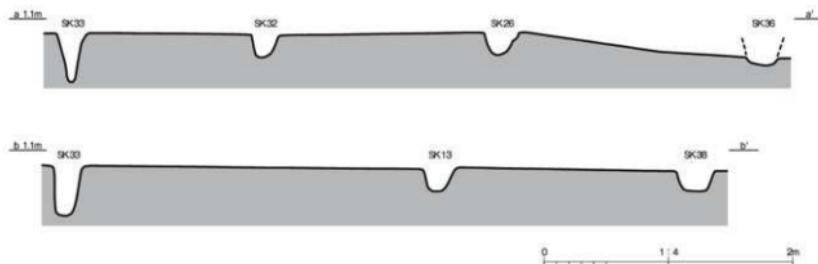
調査区中央部に位置し、直径約36cmを測る円形土坑である。深さは28cmで、覆土は灰色シルトに地山層が混在する。遺物は須恵器が出土。第6図2は須恵器の甕又は壺の破片である。

35号土坑（SK35、第5図、図版1・2）

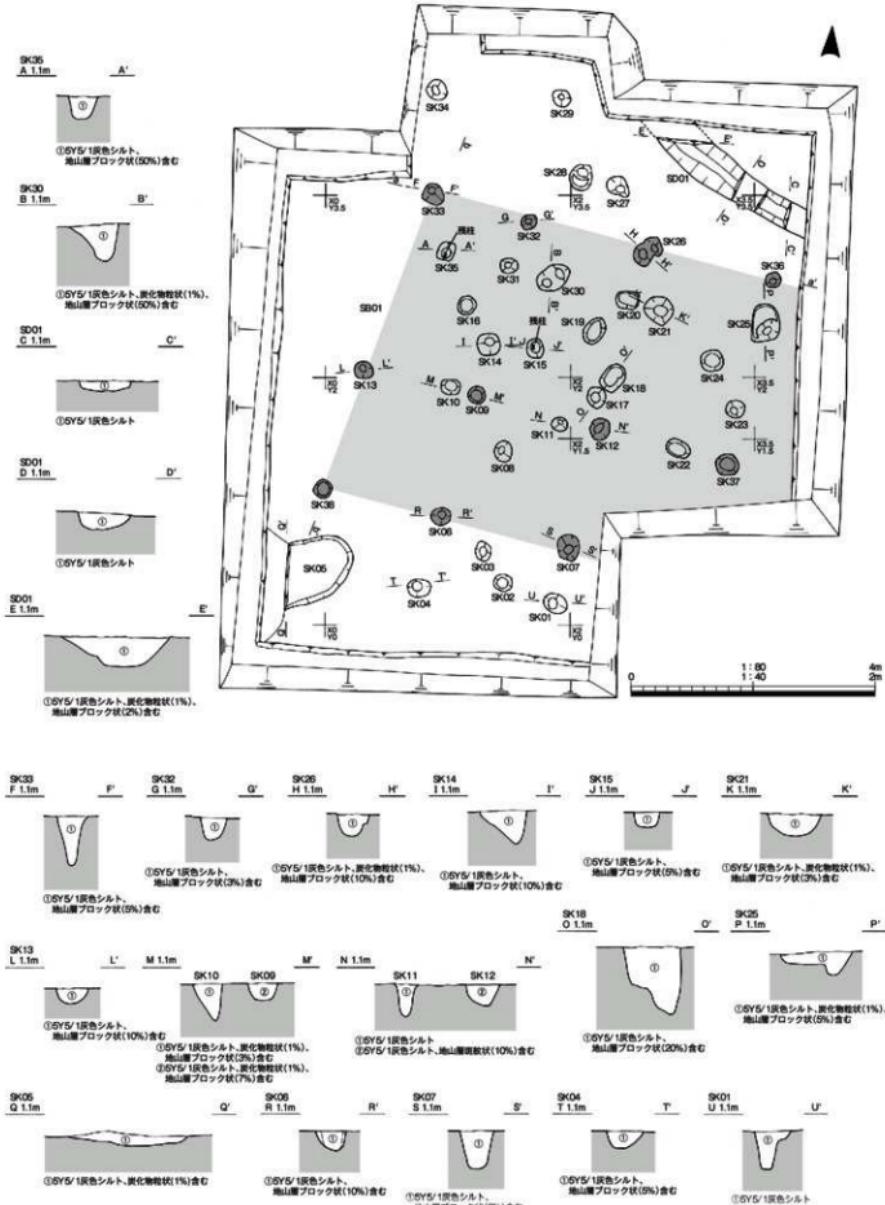
調査区中央部に位置する楕円形土坑で、長軸29cm、短軸26cm、深さ19cmを測る。断面は逆台形状を呈し、覆土は灰色シルトに地山層が混在する。遺物は柱状部材（図版2）が出土している。柱穴内の残柱と考えられるが、他の出土遺物がないため時期不明である。

1号掘立柱建物（SB01、第4・5・7図、図版1）

平成20年度、東側隣接区（2地区）において調査されていた掘立柱建物が今回の調査区まで広がる。規模は2間×8間の総柱建物である。桁行15.1m、梁行5.1m、面積は77.01m²である。柱穴の平面形は円形～楕円形で、規模は径24cm～36cm、深さは13cm～40cmである。覆土は地山層が混在する灰色シルトが堆積する。遺物は33号土坑から珠洲甕（第6図4）の破片、32号土坑から中世土師器の小破片が出土している。



第4図 遺構実測図 [高島A遺跡10地区] (1/40)



第5図 遺構実測図 [高島A遺跡10地区] (1/80, 断面図1/40)



第6図 遺物実測図〔高島A遺跡10地区〕 (1/4)

図版	No.	遺構	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	備考	残存量
第6図	1	X0 Y0	弥生土器	甕				刺突文	破片
	2	SK14	須恵器	甕(蓋)				青海波文	破片
	3	X1 Y3	珠洲	片口鉢					破片
	4	SK33	珠洲	甕					破片
	5	SK21	珠洲	甕(蓋)					破片

第1表 出土遺物観察表〔高島A遺跡〕

第4節 総 括 (第7図)

高島A遺跡は、弥生～古墳時代・鎌倉～室町時代の2時期の遺構が確認されているが、今回の調査区では鎌倉～室町時代の遺構を確認している。従前の調査では、5地区からD-2区へと続く幅3.2m～3.6mを測る区画溝が、南北方向に直線で進み、途中直角に曲がりながら調査区外へのびる。遺物は珠洲・八尾・瀬戸美濃・青磁等が出土している。この溝の区画内（東側）に在地領主等の屋敷跡を想定していた。今回の調査区では、新たに溝の区画外（西側）に2間×8間の総柱建物が確認されたことによって、屋敷地の対岸にも別の屋敷跡又は倉庫群等の存在が明らかとなつた。

年々進んでいく発掘調査により、遺跡の様相が少しづつ解明されることに今後も期待したい。



第7図 中世遺構配置図〔高島A遺跡〕

参考文献

- 金三津英則他 2006年「高島A遺跡発掘調査報告書－鏡宮高島土地区画整理事業に伴う発掘調査－」射水市教育委員会
 金三津英則他 2007年「高島A遺跡発掘調査報告－射水市立新浜南部中学校用地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査－」射水市教育委員会
 田中 明他 2010年「射水市内遺跡発掘調査報告Ⅱ－高島A遺跡・松木遺跡・千田遺跡本発掘調査他－」射水市教育委員会
 田中 明他 2011年「射水市内遺跡発掘調査報告Ⅲ－高島A遺跡本発掘調査・土合地区分布調査他－」射水市教育委員会
 田中 明他 2012年「射水市内遺跡発掘調査報告Ⅳ－高島A遺跡本発掘調査・広上地区分布調査他－」射水市教育委員会

第3章 水戸田地区試掘調査

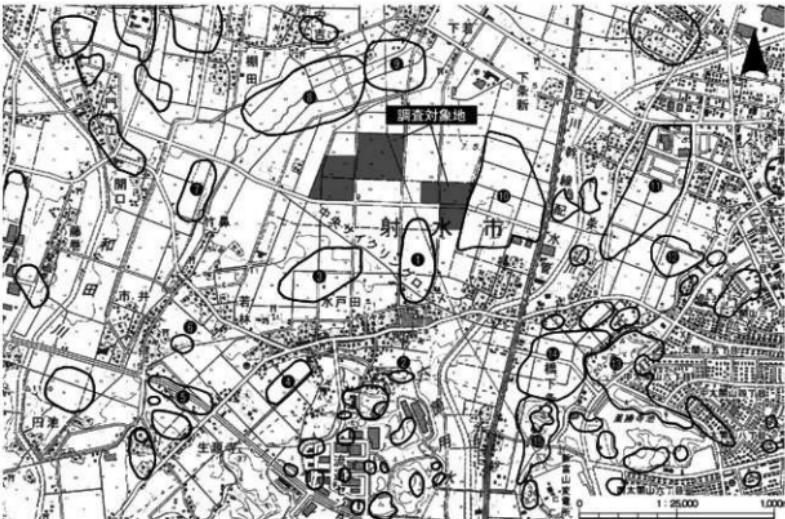
第1節 調査に至る経緯と調査の経過

平成22年10月、富山県高岡農林振興センターから、射水市水戸田地区における県営は場整備事業の実施に係る事前協議を受けた。事業は、平成24年度から30年度までの7か年計画であり、地区内の農道・用排水路等の撤去・新設及び水田の切土・盛土を含み、大区画は場へ再整備するものである。

事業計画地縁辺部においては、周知の埋蔵文化財包蔵地として本田宮田遺跡・本田畠田遺跡・水戸田遺跡・生源寺II遺跡・生源寺III遺跡・大白北遺跡・水戸田神明堂遺跡が知られていたが、事業計画地内の大半を占める水田部においては発掘調査実績が少なく、埋蔵文化財に関する情報が不足していた。そのため、事業計画地全域の約69haを対象として、小規模なトレチ發掘を併用した分布調査を実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地範囲を含めた造構面及び旧地形の遺存状況と、埋蔵文化財の大まかな範囲を把握したうえで、事業計画との調整を図ることとなった。

分布調査は、射水市教育委員会が主体となって、平成23年10月13日から11月16日にかけて実施した。調査の結果、既存の埋蔵文化財包蔵地に加え、遺構・遺物の分布や旧地形の状況等から、複数箇所において、古代・中世を中心とした埋蔵文化財包蔵地の存在が想定でき、約28haの範囲で試掘調査による埋蔵文化財の範囲及び遺存状況等の確認が必要となった。

その後、事業者との協議を重ね、調査対象範囲が広大であること、年間の調査期間が収穫後の秋以降に限られることから、平成24~26年度の3か年計画で、射水市教育委員会が主体となって試掘調査を実施することとなった。2か年目の平成25年度は129,150m²を調査対象地として実施した。



第8図 調査対象地及び周辺の遺跡 (1:25,000)

- ①水戸田遺跡 ②水戸田神明堂遺跡 ③生源寺II遺跡 ④生源寺III遺跡 ⑤生源寺遺跡 ⑥市ノ井東遺跡 ⑦縄田遺跡 ⑧本田宮田遺跡
- ⑨本田畠田遺跡 ⑩大白北遺跡 ⑪赤田I遺跡 ⑫赤田東遺跡 ⑬日の宮遺跡 ⑭日の宮城跡 ⑮五歩一遺跡

第2節 調査の方法

試掘調査では、山積0.28m³のバックホウを使用して、幅約0.8~1.0m、長さ3.9m~44.3mの試掘トレンチを任意に設置し、遺構面と考えられる層まで掘り下げた。バックホウによる掘削の後、人力によりトレンチ床面及び壁面の精査を行い、遺構・遺物の有無を確認するとともに、土層断面の実測及び写真撮影により記録を作成した。

大区画は場を整備するという事業の性格上、水田面の平行を確保するための切土・盛土調整が伴うこととなるため、試掘調査では遺構の平面的な広がりに加え、特に遺構面標高値の測定に高い精度が求められた。測量精度の確保及びは場整備事業計画との整合を図るため、試掘トレンチの平面位置測量及び標高基準面測量は測量業者に委託して実施し、測量原点となる標高点及び基準点には、は場整備事業に伴って設置された既設点を使用した。

第3節 調査の概要

第1項 基本層序（第9図）

調査対象地は、射水平野の南端、和田川と下条川により形成された標高7.8mから9.1mの沖積平野に位置し、南西から北東方向へ緩やかに傾斜する。

基本層序は上層からⅠ層：灰黄褐色粘質土・黒褐色粘質土、Ⅱ層：にぶい黄褐色粘質土・黒褐色粘質土、Ⅲ層：黒褐色粘質土・暗灰黄色粘質土、Ⅳ層：にぶい黄橙色粘質土・黄灰色粘質土である。

Ⅰ層は、現在の水田耕作土である。

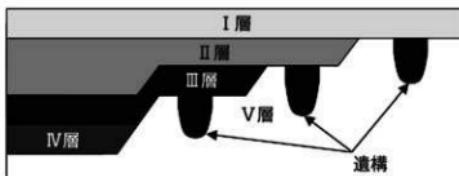
Ⅱ層は、自然堆積、旧表土もしくは昭和30年代の耕地整理の客土である。客土は調査区東側が比較的厚く堆積しており、東側の旧水田面が低地であったためと推測される。

Ⅲ層以下は自然堆積層である。Ⅲ層はⅡ層同様、東側は西側に比べ比較的厚く堆積している。

IV層はⅢ層からV層への漸移層で、東側部分にのみ確認できた。植物遺体を含み縮まりがなく、湧水を伴う。

V層は地山である。にぶい黄橙色・黄灰色を呈する。I層からⅢ層まで粘性の強い土層が続くが、V層はさらに粘性が強い。ただし、調査区南側の一部に、にぶい黄橙色・黄灰色を呈しながらも、縮まりのないシルト質の箇所も確認できた。

- Ⅰ層：水田耕作土
- Ⅱ層：人為的堆積層（客土）
- Ⅲ層：自然堆積層
- Ⅳ層：自然堆積層
- Ⅴ層：地山（遺構検出面）



第9図 基本層序模式図

第2項 遺構・遺物及び地形の状況（第10~13図、図版3~6）

水戸田地区南部に広がる射水丘陵には、国指定史跡小杉丸山遺跡をはじめとし、石名山窯跡、小杉流通業務団地内No16遺跡・小杉流通業務団地内No18遺跡、宿屋窯跡など須恵器生産遺跡のほか製鉄関連遺跡が多く所在する。水戸田地区は、このように古代より適度な傾斜地と良質の粘土を利用した須恵器と鉄の大生産地であった射水丘陵北部に位置する。

昭和27年に撮影された航空写真等から、調査区は庄川扇状地の東側扇端と下条川扇状地の西側扇端の接する地点に位置することがわかる。

試掘調査の結果、古くは平坦地に小谷が南西から北東方向に複数伸びていたことを確認した。これらの小谷は、庄川や下条川の扇状地形成活動により埋没したもので、順序としては庄川扇状地の形成活動が終了した後、その扇状地の上に下条川扇状地が形成されたと考えられる。

昭和30年代の耕地整理以前の調査対象地は、扇端であることから土砂の堆積の薄い、北東に向かって緩やかに傾斜する地形であった。それを耕地整理によりさらに平坦に削平し水田化している。

平成25年度の試掘調査では溝・土坑を多数検出したが、時期を特定できる遺構は確認できなかった。遺物は、I層及びII層から出土し、出土層位と遺物の時代に関連は認められなかった。

遺物は、調査区西側の51・52・54～56・61・65トレンチにおいてII層から弥生土器がまとまって出土した。器種は甕・高杯などの小破片であった。おそらく近接地に小規模な集落があるものと考えられる。

また、調査区全体に散在した須恵器もI層・II層から出土している。器種は壺・壺蓋・甕などである。時期はいずれも8世紀代後半である。

珠洲焼の片口鉢、II期（第13図31）、IV期（第13図32～35）、見込みに菊花文のある越中瀬戸皿（第13図36）が調査区東側の6・9・18・19・42・49トレンチから出土している。

第3項 調査のまとめ（第10・11図）

調査の結果、掘削深度による保護措置が必要な地点を次の3箇所とし、新たに遺跡名を付した。調査区南側から順に13～20トレンチにあたる箇所を水戸田惣分Ⅰ遺跡、調査区西側の50～60トレンチにあたる箇所を水戸田惣分Ⅱ遺跡、調査区中央北側の21・22・41・43トレンチにあたる箇所を水戸田前野遺跡とする。

番号	遺跡名	時代	種別	面積	備考
1	水戸田惣分Ⅰ遺跡	弥生・古代	散布地	16,250m ²	溝・土坑
2	水戸田惣分Ⅱ遺跡	弥生・古代	散布地	28,110m ²	溝・土坑
3	水戸田前野遺跡	弥生・古代	散布地	4,930m ²	溝・土坑

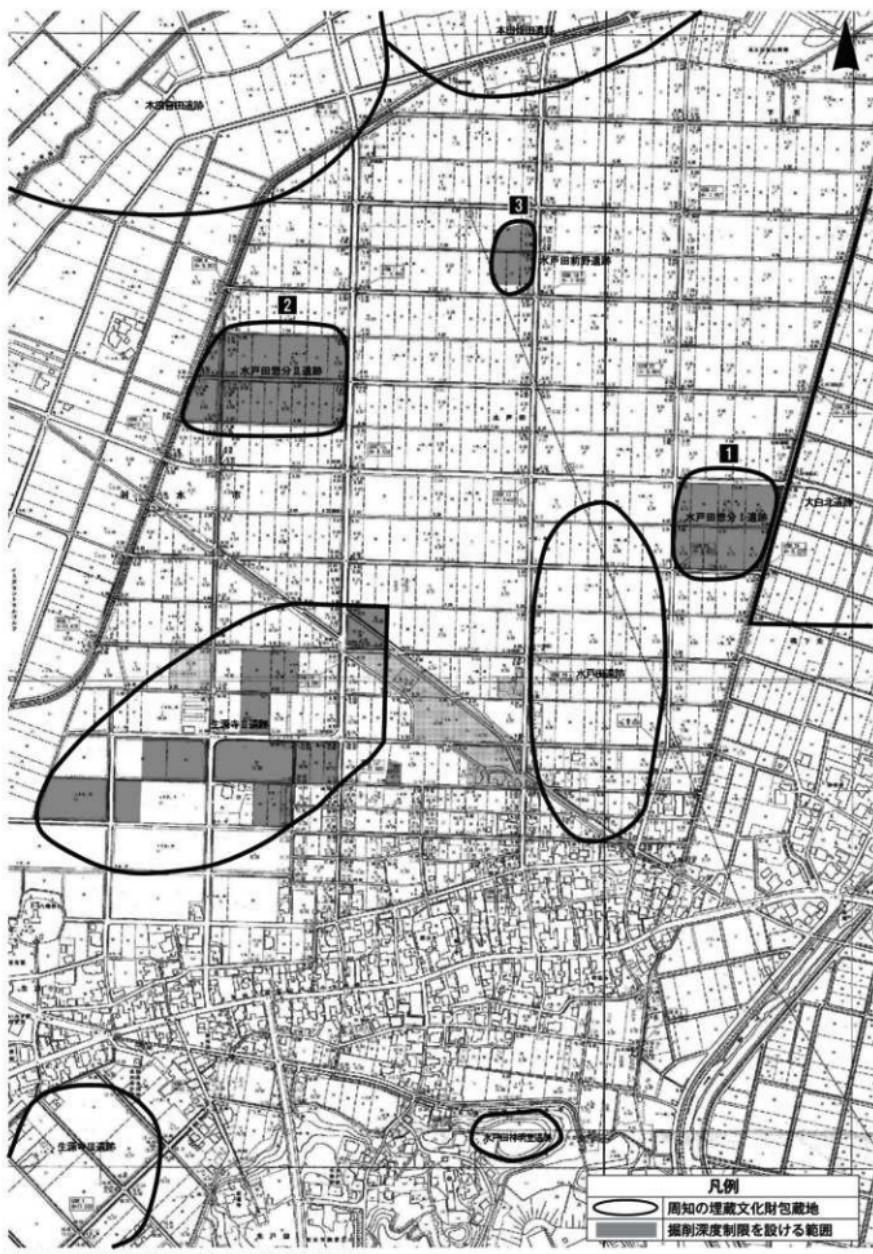
第2表 新規包蔵地一覧表

参考文献

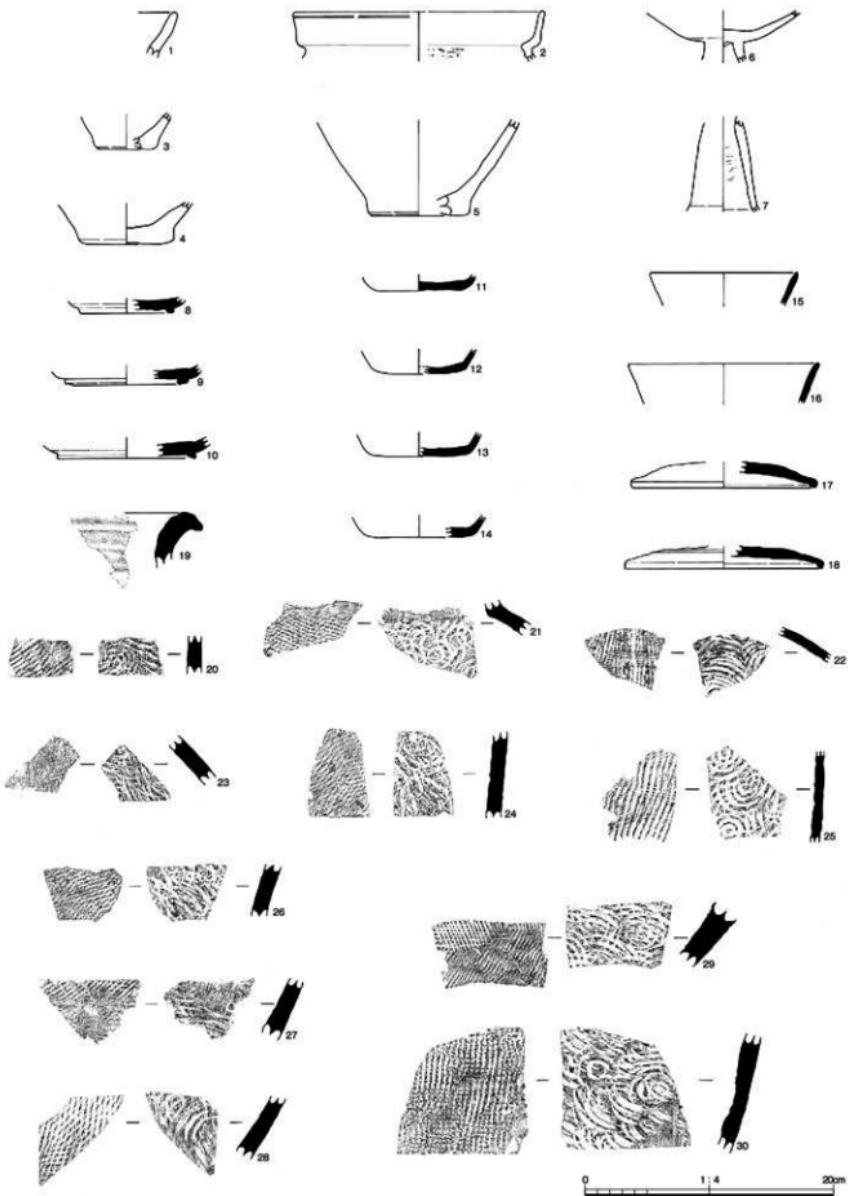
- 富山県埋蔵文化財センター 1994年 『小杉流通業務団地内遺跡群第12次発掘調査概要』
大門町教育委員会 2000年 『県営は場整備事業（生源寺地区）に係る埋蔵文化財包蔵地試掘調査報告』
射水市教育委員会 2013年 『射水市内遺跡発掘調査報告V－水戸田地区分布調査・大乗妙典塔一字一石經調査－』
射水市教育委員会 2014年 『射水市内遺跡発掘調査報告6－平成24年度水戸田地区は場整備に伴う試掘調査－』



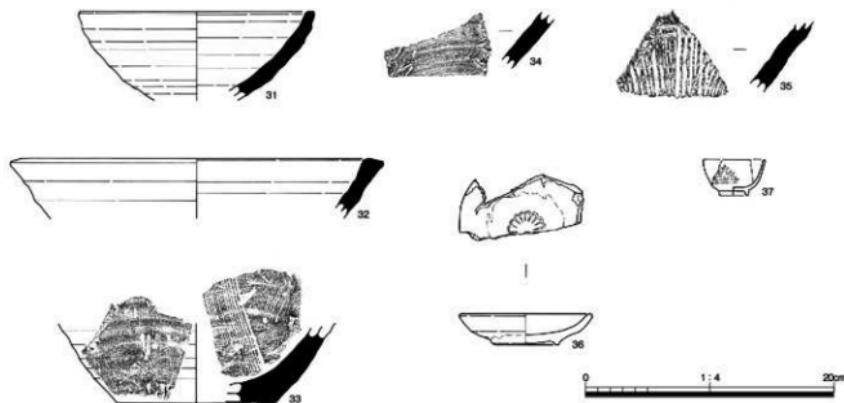
第10図 トレンチ配置図 [水戸田地区試掘調査]



第11図 調査結果総括図 [水戸田地区試掘調査]



第12図 遺物実測図【水戸田地区試掘調査】(1/4)



第13図 遺物実測図【水戸田地区試掘調査】(1/4)

図版	No.	出土地区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	備考	残存量
第12図	1	51T	弥生土器	甕	20.0	4.8	7.4	黒褐色土 遺構覆土	破片
	2	54T	弥生土器	甕					口1/16
	3	56T	弥生土器	甕(蓋)					底1/2
	4	52T	弥生土器	甕(蓋)					底はぼ完存
	5	55T	弥生土器	甕(蓋)					底3/16
	6	65T	弥生土器	高坏				落ち込み	体5/8
	7	61T	弥生土器	高坏(器台)				黒色土	破片
	8	60T	須恵器	坏B					底1/4
	9	31T	須恵器	坏B					底1/8
	10	15T	須恵器	坏B				黒色土	底1/4
	11	19T	須恵器	坏A				耕作土	底1/4
	12	49T	須恵器	坏A				耕作土	底1/10
	13	15T	須恵器	坏A				黒色土	底1/8
	14	15T	須恵器	坏A				黒色土	底1/6
	15	49T	須恵器	坏	12.0	11.2	15.5	耕作土	口1/10
	16	13T	須恵器	坏				耕作土	口1/10
	17	38T	須恵器	坏蓋					口1/8
	18	15T	須恵器	坏蓋	16.0	6.8	14.8	耕作土	口1/4
	19	28T	須恵器	甕				黒色土	破片
	20	55T	須恵器	甕(蓋)				青海波文	破片
	21	38T	須恵器	甕(蓋)	19.1	12.0	27.9	青海波文	破片
	22	13T	須恵器	甕(蓋)				青海波文	破片
	23	15T	須恵器	甕(蓋)				青海波文	黒色土 破片
	24	15T	須恵器	甕(蓋)	27.9	12.0	19.1	青海波文	黒色土 破片
	25	16T	須恵器	甕(蓋)				青海波文	青海波文 破片
	26	5T	須恵器	甕(蓋)				青海波文	黒色土 破片
	27	54T	須恵器	甕(蓋)	10.6	2.5	5.0	耕作土	青海波文 破片
	28	16T	須恵器	甕(蓋)				青海波文	青海波文 破片
	29	21T	須恵器	甕(蓋)				遺構内	青海波文 破片
	30	59T	須恵器	甕(蓋)	4.8	2.3	3.0	青海波文	青海波文 破片
第13図	31	19T	珠洲	片口鉢				耕作土	口1/16
	32	39T	珠洲	片口鉢				耕作土	口1/12
	33	18T	珠洲	片口鉢				耕作土	底1/8
	34	9T	珠洲	片口鉢				耕作土	破片
	35	42T	珠洲	片口鉢				耕作土	破片
	36	6T	越中瀬戸	皿				印花文 耕作土	口1/8 底1/2
	37	54T	伊万里	猪口				外腹草花文	口1/6 底完存

第3表 出土遺物観察表【水戸田地区試掘調査】

口：口縁部 底：底部 体：体部

第4章 その他の遺跡調査

平成25年度に射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財の調査件数は、試掘調査15件・本発掘調査1件・工事立会27件であった。傾向としては、試掘調査件数が昨年度比較で2割減少、調査原因の個人専用住宅建築がその5割強を占める結果となった。調査後の措置では、試掘調査4件において遺跡の広がりが確認されたため、盛土保存の対応で協議を行った。

分布調査

地	所在地	面積	調査期間	対象面積	種別	現況	探査遺物	調査後の措置
1	入会地区	小杉インター パーク 造成事業	H25.4.22 - 5.9	327,000m ²	天池C遺跡・天池E遺跡 水鏡場G遺跡・水鏡場日 遺跡造成地内	標高約12~58mの 樹木林及び 荒廃地	なし	工事立会後に 本発掘調査の 要否判断
計		1件			対象面積 327,000m ²			

試掘調査

地	遺跡名	所在地	原因	調査期間	対象面積	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物	調査後の措置
1	沖塙原屋B 211034	沖塙原屋132番1	駐車場及び 販賣施設造成	H25.6.11	2,883m ²	165.2m ²	散布地	不明層 不明土坑	弥生土器・中後土器	工事実施 (支障なし)
2	上野北 211260	上野306番1	個人専用 住宅建築	H25.6.28	340m ²	24.0m ²	散布地	なし	なし	工事実施 (支障なし)
3	朴木A 211028	朴木3番6	個人専用 住宅建築	H25.8.7	354.19m ²	8.0m ²	散布地	なし	なし	工事実施 (支障なし)
4	島野千代形 211014	西新田26-18	個人専用 住宅建築	H25.8.21	265.91m ²	8.0m ²	散布地	なし	なし	工事実施 (支障なし)
5	黒川尺日 211109	黒川字前田654 外10筆	個人専用 住宅建築	H25.8.21	513m ²	35.3m ²	散布地・集落	不明土坑	古代土器	工事実施 (支障なし)
6	背戸狭間 211015	背戸寺26-2 外1筆	個人専用 住宅建築	H25.8.29	313.5m ²	24.5m ²	散布地	なし	なし	工事実施 (支障なし)
7	水戸川 211376	水戸川田34-1番地 外40筆	販賣は場整備	H25.9.17~9.19	37,590m ²	797.8m ²	散布地	古代層・古代土坑 不明層・不明土坑	弥生土器・古墳土器 古代振盪器・古代土器 中後土器・近世鉢形 近世磁器	保存議論中
8	生瀬寺Ⅱ 211421	水戸川592-1番地 外16筆	販賣は場整備	H25.9.20~10.2	91,560m ²	1,862.4m ²	散布地	古代層 不明層・不明土坑	弥生土器・古墳土器 古代振盪器・古代土器 中後土器・近世磁器	保存議論中
9	背戸狭間 211015	背戸寺26-2 外1筆	個人専用 住宅建築	H25.10.28	206.1m ²	6.4m ²	散布地	なし	なし	工事実施 (支障なし)
10	中山北B 211094	戸倉字加茂1618	店舗建築	H25.11.27	350.1m ²	7.5m ²	散布地	なし	なし	工事実施 (支障なし)
11	朴木A 211039	朴木527	市道改良工事	H25.12.11	190m ²	4.92m ²	散布地	不明層	なし	工事実施 (支障なし)
12	生瀬寺Ⅱ 211424	水戸川1709-4 外51筆	販賣は場整備	H26.2.24	1,572m ²	47m ²	散布地	古代層 不明層・不明土坑	古代振盪器	保存議論中
13	生瀬寺Ⅱ 211421	水戸川42	販賣は場整備	H26.3.3	2,804m ²	87.4m ²	散布地	古代層・古代土坑 不明層・不明土坑	古代振盪器・古代鉄洋	保存議論中
14	上野東Ⅱ 211165	上野字赤田657番1	個人専用 住宅建築	H26.3.11	140m ²	7m ²	散布地	なし	なし	工事実施 (支障なし)
15	朴木C 211044	朴木143	個人専用 住宅建築	H26.3.24	788m ²	196m ²	散布地	不明層	なし	工事実施 (支障なし)
計	12遺跡15件				対象面積 139,770.5m ²	発掘面積 3,045.0m ²				

本発掘調査

地	遺跡名	所在地	原因	調査期間	対象面積	種別	検出遺構	出土遺物
1	高島A 211027	高岡市高1丁目 67番地	個人専用 住宅建築	H25.9.6~9.20	76.0m ²	集落 散布地	弥生土坑・中世柱立柱建物 不明土坑	弥生土器・古墳土器 中世柱立器・不明柱石
計	1遺跡1件						発掘面積 76.0m ²	

第4表 平成25年度埋蔵文化財発掘調査一覧



第14図 試掘調査位置図

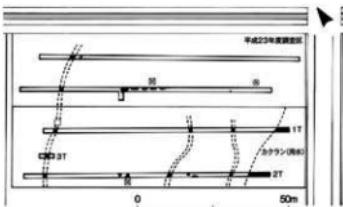
第1節 平成25年度試掘調査概要

1. 沖塚原東B遺跡（図版7）

所在地 射水市沖塚原132番1
調査期間 平成25年6月11日
調査面積 対象面積：2,883m² 発掘面積：165.2m²
調査原因 駐車場及び資材置場造成
調査担当者 田中 明・金三津美則
検出遺構 時期不明：溝3条・土坑4基
出土遺物 弥生土器・中世土師器



調査概要 対象地の現況は水田で、標高約1.4mに位置する。検出遺構からの遺物はなく、時期不明である。平成23年度の北側隣接地の試掘調査時と同様に、昭和40年代のは場整備により地山層（灰黄色シルト）が削平を受け均平化されているため、遺跡の広がりは見られないと考える。

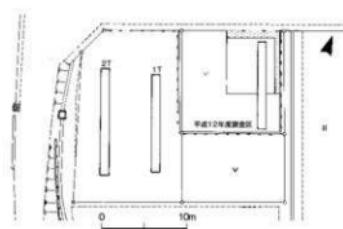


2. 上野北遺跡

所在地 射水市上野306番1
調査期間 平成25年6月28日
調査面積 対象面積：240m² 発掘面積：24.0m²
調査原因 個人専用住宅建築
調査担当者 田中 明
検出遺構 なし
出土遺物 なし



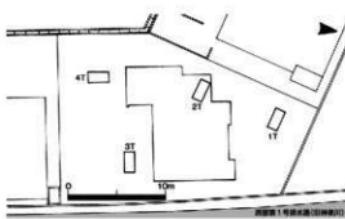
調査概要 土層は上から1層が暗灰黄色の耕作土、2層が灰黄色シルト(2.5Y7/2)の地山、3層が黄灰色シルト、4層が暗灰黄色シルトで共に腐植土である。全域において腐植土層の谷状地形が広がっており、沼沢地にあたると考えられる。東側隣接地における平成12年度の試掘調査時にも遺構が確認されなかったことからも、遺跡の広がりは見られない。



3. 朴木A遺跡

所在地 射水市朴木3番6
調査期間 平成25年8月7日
調査面積 対象面積：354.19m² 発掘面積：8.0m²
調査原因 個人専用住宅建築
調査担当者 田中 明
検出遺構 なし
出土遺物 なし

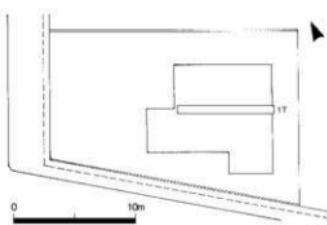
調査概要 対象地の現況は宅地で標高約1.6mに位置する。土層は造成盛土の山砂と黒褐色シルト(2.5Y3/1)の自然堆積土のみの確認となり、現況より2.2m下まで掘削したが地山層には未到達である。東側に流れる西部1号排水路が旧神楽川であることから、対象地全域が旧河川内に位置するものと考えられるため、遺跡の広がりは見られない。



4. 鳥帽子形遺跡

所在地 射水市西新湊26-18
調査期間 平成25年8月21日
調査面積 対象面積：265.91m² 発掘面積：8.0m²
調査原因 個人専用住宅建築
調査担当者 田中 明
検出遺構 なし
出土遺物 なし

調査概要 対象地は遺跡包蔵地の北東端に位置し、現況は宅地で標高約1.3mを測る。土層は上から1層が山砂層を含む造成盛土(約1.3m)、2層が灰色シルトの旧耕作土(約1.0m)、3層が明緑灰色シルト(7.5GY7/1)の地山である。遺物を包含する土層や遺構が確認されなかったことから、遺跡の広がりは見られないと考える。

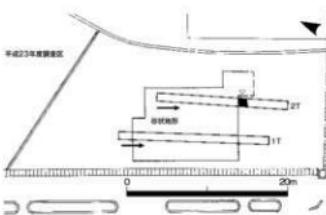


5. 黒河尺目遺跡（図版8）

所在 地 射水市黒河字前田464 外2筆
調査期間 平成25年8月21日
調査面積 対象面積：513m² 発掘面積：35.3m²
調査原因 個人専用住宅建築
調査担当者 田中 明
検出遺構 時期不明：土坑1基
出土遺物 古代土師器



調査概要 対象地の現況は造成済み雑種地で、標高約9.1mに位置する。土層は5層に細分され、地山は灰白色（5GY8/1）シルトである。平成13年度、隣接する県道で本発掘調査の際に検出した谷地形へと繋がる落ち込みをほぼ全域で確認した。谷には遺構が散発的で遺物も少なく、遺構時期を特定することが難しいため、本発掘調査の必要無しと判断した。

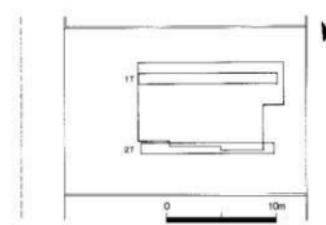


6. 背戸狭間遺跡

所在 地 射水市善光寺26-2 外1筆
調査期間 平成25年8月29日
調査面積 対象面積：313.5m² 発掘面積：24.5m²
調査原因 個人専用住宅建築
調査担当者 田中 明
検出遺構 なし
出土遺物 なし



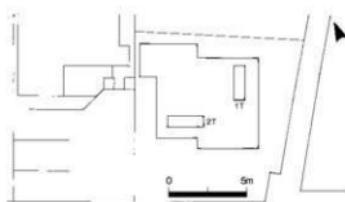
調査概要 対象地は遺跡包蔵地の南端に位置し、現況は休耕田で標高約0.6mを測る。土層は上から1層が灰色シルト（5Y6/1）の旧耕作土（32~46cm）、2層が灰白色や粘質シルト（5Y8/2）の地山である。遺構確認は2層上面で行った。遺物を包含する土層や遺構が確認されなかつたことから、遺跡の広がりは見られないと考える。



9. 背戸狭間遺跡

所在地 射水市善光寺16-12
調査期間 平成25年10月28日
調査面積 対象面積：206.1m² 発掘面積：6.4m²
調査原因 店舗兼住宅建築
調査担当者 田中 明
検出遺構 なし
出土遺物 なし

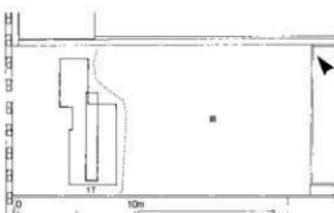
調査概要 対象地は遺跡包蔵地の東部域に位置し、現況は宅地で標高約1.6mを測る。土層は上から1層が浅黄色砂の造成盛土（約1.2m）、2層が灰色シルトの旧耕作土（約0.3m）、3層が灰色砂（5Y5/1）の確認となり、現況地盤より2.6m下まで掘削したが、地山層には未到達である。3層は旧河川の堆積土と考えられ、遺跡は見られなかった。



10. 中山北B遺跡

所在地 射水市戸破字加茂1618
調査期間 平成25年11月27日
調査面積 対象面積：350.1m² 発掘面積：7.5m²
調査原因 店舗建築
調査担当者 田中 明
検出遺構 なし
出土遺物 なし

調査概要 対象地は遺跡包蔵地の北端に位置し、現況は造成地碎石敷きで、標高約4.6mを測る。土層は上から1層が碎石、2層が造成盛土、3層が灰色シルトの旧耕作土（約0.1m）、4層が灰白色シルト（7.5Y8/2）の地山である。遺構確認は4層上面で行った。遺物を包含する土層や遺構が確認されなかつたことから遺跡の広がりは見られない。



11. 松木大ノ田遺跡

所在 地 射水市松木527

調査 期間 平成25年12月11日

調査 面積 対象面積：190m² 発掘面積：4.92m²

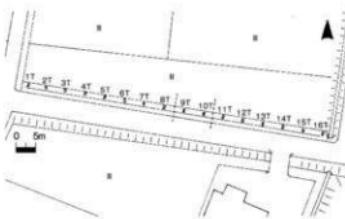
調査 原因 市道改良工事

調査 担当者 田中 明

検出 遺構 時期不明：溝1条

出土 遺物 なし

調査概要 対象地の現況は水田で、標高約2.2mに位置する。検出した南北方向の溝からの遺物はなく、時期不明である。土層は上から1層が灰オリーブ色シルトの耕作土、2層が浅黄色（2.5Y7/4）シルトの地山である。遺構覆土にのみ1層下に灰色シルト（5Y4/1）が堆積している。保護措置が必要となる埋蔵文化財の広がりは見られなかった。



12. 生源寺II遺跡（第15図、図版9）

所在 地 射水市戸田1709-4 外1筆

調査 期間 平成26年2月24日

調査 面積 対象面積：1,572m² 発掘面積：47m²

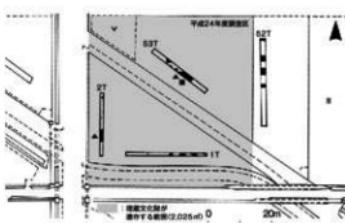
調査 原因 県営ほ場整備

調査 担当者 田中 明

検出 遺構 古代・中世：溝6条・土坑4基

出土 遺物 古代須恵器

調査概要 平成24年度の試掘調査区53トレチで検出した古代・中世の遺構が今回の対象地内においても多数確認された。また、2トレチ南側で検出した溝から須恵器も出土している。対象地内と53トレチを含む範囲内に小規模な遺跡の広がりが見られるため、遺構に影響が及ぶ工事等を実施する場合は、記録保存（2,025m²）が必要である。



13. 生源寺Ⅱ遺跡（第15図、図版10）

所 在 地 射水市木戸田42 外3筆

調査期間 平成26年3月3日

調査面積 対象面積：2,804m² 発掘面積：87.4m²

調査原因 県営ほ場整備

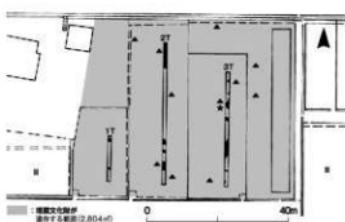
調査担当者 田中 明

検出遺構 古代：溝5条・土坑7基

出土遺物 古代須恵器・古代鉄滓



調査概要 対象地の現況は水田で、標高約11.9mに位置する。土層は3層に分けられ、地山は淡黄色シルト（5Y8/3）である。全てのトレンチで遺構・遺物が検出され、古代の遺跡が良好に遺存している。北側から対象地内へのびる遺跡の広がりが見られるため、遺構に影響が及ぶ工事等を実施する場合は、記録保存（2,804m²）が必要である。



14. 上野東Ⅱ遺跡

所 在 地 射水市上野字赤田457番1

調査期間 平成26年3月11日

調査面積 対象面積：140m² 発掘面積：7m²

調査原因 個人専用住宅建築

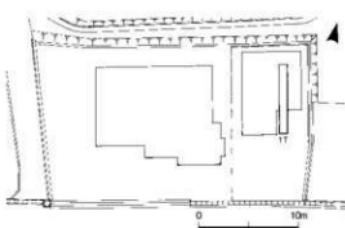
調査担当者 田中 明

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査概要 対象地は遺跡包蔵地の南西端に位置し、現況は家屋解体後の更地で、標高約18.6mを測る。土層は上から1層が褐灰色粘質土で造成盛土、2層がにぶい黄橙色シルト（10YR7/2）の地山である。遺構確認は2層上面で行った。遺物を包含する土層や遺構が確認されなかったことから、遺跡の広がりは見られないと考える。



15. 朴木C遺跡

所 在 地 射水市朴木143

調査期間 平成26年3月24日

調査面積 対象面積: 788m² 発掘面積: 19.6m²

調査原因 個人専用住宅建築

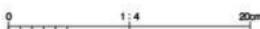
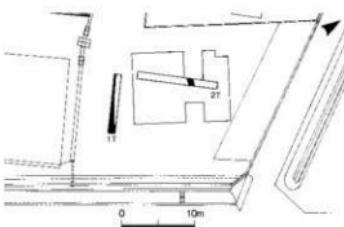
調査担当者 田中 明

検出遺構 時期不明: 溝2条

出土遺物 なし



調査概要 対象地は遺跡包蔵地の北東端で隣接する朴木A遺跡との狭間に位置し、現況は標高約1.7mの畠地である。検出した東西方向の溝からの遺物はなく、時期不明である。土層は上から1層が黄灰色シルトで耕作土、2層が浅黄色(2.5Y7/4)シルトの地山である。保護措置が必要となる埋蔵文化財の広がりは見られなかつた。



第15図 遺物実測図【生源寺II遺跡】(1/4)

図版	No.	出土地区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	備考	残存量
第15図	1	2T	須恵器	甕(壺)				青海波文	破片
	2	3T	須恵器	壺蓋	11.0				口縁部1/4 破片
	3	2T	須恵器	甕(壺)				青海波文	破片
	4	表採	須恵器	甕(壺)				青海波文	破片
	5	表採	須恵器	甕(壺)				青海波文	破片
	6	表採	須恵器	甕(壺)				青海波文	破片

第5表 出土遺物観察表【生源寺II遺跡】

高島A遺跡〔10地区〕 図版1

1. 遺構全景
(北から)



2. 溝SD01E-E'
(南から)



3. 土坑SK14
(南から)



4. 土坑SK33
(南から)



5. 土坑SK35
(東から)



図版2 高島A遺跡〔10地区〕

出土遺物
土器・石製品



木製品
(柱状部材)



水戸田地区試掘調査 図版3

1. 14T遺構検出
(西から)



2. 16T遺構検出
(西から)



3. 18T全景
(西から)



図版4 水戸田地区試掘調査



1. 22T全景
(南から)



2. 22T遺構検出
(南から)



3. 41T遺構検出
(東から)

1. 54T 遺構検出
(西から)



2. 59T 土層断面
(西から)



3. 作業状況(南から)



図版6 水戸田地区試掘調査

出土遺物
土師器



須恵器
珠洲など



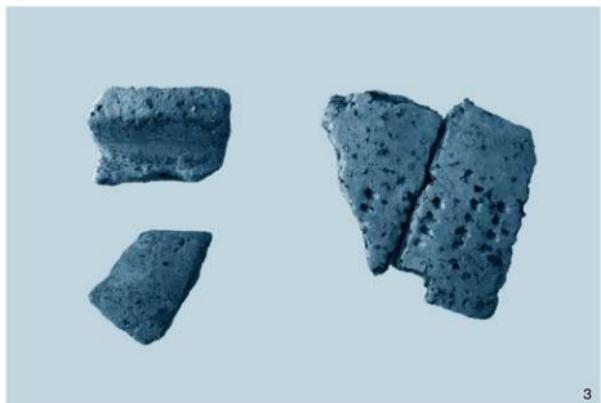
1. 調査対象地全景
(西から)



2. 2T遺構検出
(南から)



3. 出土遺物
弥生土器
中世土器
(左下)



図版8 黒河尺目遺跡試掘調査



1. 1 T 全景
(南から)



2. 2 T 遺構検出
(南から)



3. 出土遺物
古代土器

生源寺II遺跡試掘調査 図版9

1. 調査対象地全景
(北から)



2. 2T遺構検出
(南から)



3. 出土遺物
須恵器



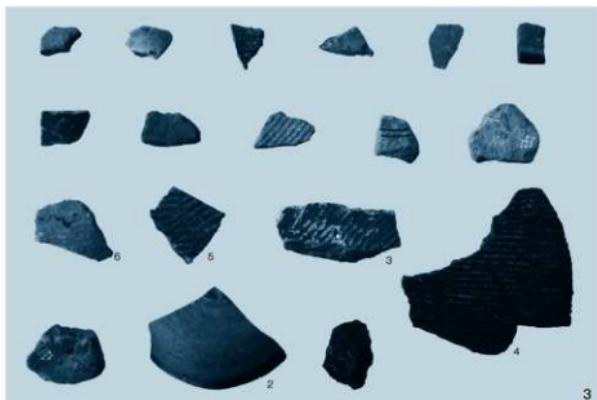
図版10 生源寺Ⅱ遺跡試掘調査



1. 2T遺構検出
(南から)



2. 3T遺構掘削
(北から)



3. 出土遺物
須恵器
鉄滓

報告書抄録

ふりがな 書名	いみずしないいせきはくつちょうさほうこくな 射水市内遺跡発掘調査報告7						
副書名	平成25年度高島A遺跡本発掘調査・水戸田地区試掘調査他						
編著者名	稲垣尚美 田中 明						
編集機関	射水市教育委員会						
所在地	〒933-0292 富山県射水市加茂中部893番地 TEL0766-59-8093						
発行年月日	西暦2015年2月27日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
たかしまとい　い　せき 高島A遺跡	い　みず　しきがのみやや　よい 射水市鏡宮弥生	211	027	36°45'15" 137°05'13"	平成25年度 20120906～ 20120920	76	個人専用住宅建築
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
高島A遺跡	集落・散布地	弥生・中世	弥生土坑 中世掘立柱建物 不明溝・不明土坑		弥生土器・古墳土師器 古代須恵器・中世珠洲 中世土師器・不明砥石 不明柱部材		
要約	中世区画溝の西側に中世期2間×8間の掘立柱建物（総柱建物）を検出した。						

* 試掘調査の抄録は第4表を参照下さい。

射水市内遺跡発掘調査報告7

－平成25年度高島A遺跡本発掘調査・水戸田地区試掘調査他－

2015(平成27)年2月27日 発行

編集・発行 射水市教育委員会

〒933-0292

富山県射水市加茂中部893番地

TEL0766-59-8093

印 刷 株式会社タニグチ印刷
